

にしめら 議会だより



NISHIMERA VILLAGE

2022 8月
No.166

発行：西米良村議会

3年振りの賑わい

◎ 所信表明	P 2
◎ 第2回定例会	P 2
◎ 第3回臨時会	P 8
◎ 監査室より	P 8
◎ 現地調査	P 10
◎ 一般質問	P 11



所信表明

西米良村村長 黒木竜二

3月27日に実施されました西米良村長選におきまして、私が第42代西米良村長として選任を賜り、3月28日、当選証書授受を受けまして就任いたしました。

黒木定藏前村長におかれましては、6期24年、長きにわたり、観光振興、道路改良の促進、農林業における後継者育成、更には教育環境の充実など、持続可能な村づくりの実現に向け、着実に歩みを進められたことに対しまして、深く敬意を表するところであります。

私、今後の村政を牽引していく者としては、大変な重責を感じ、身の引き締まる思いであります。また、同時にこの西米良村を未来永劫にわたり継承すべく、まっすぐな気持ちで村政運営に取り組んでいく覚悟でございます。本議会におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

これからの西米良村は大きな節目を迎えます。社会現象であります本格的

人口減少社会、超高齢化社会の到来における慢性的な人手不足、事業継承・担い手の不足、コミュニティの維持も困難化することが危惧されております。

それでも、村民総力で西米良村の伝統、文化、暮らしを次の世代へつないでいくことが重要であり、本村が幸せ度の高い持続可能な村となるよう、村政運営に取組むことが我々に課せられた責務であります。また、人として最も望まれる生き方は、生涯を終えるときに、自分の人生は幸せであったか、そして、自分はこの地で生きることができて満足であったかというふうに見えることでもあります。

村民一人一人が自分の幸せを追求できる環境条件を整えることを支援することが、行政としての使命、役割であると考えます。

本議会はもとより、村民の皆様方のお力添えをいただきながら、力強く西米良の未来を思いやる村政を執行していきたいと思っております。

第2回定例会

令和4年度一般会計補正予算

政策や投資的経費の肉付け予算

今回の補正は、2億4123万8000円を追加し、総額が歳入歳出ともに25億320万8000円となった。

■歳入

地方創生臨時交付金及び道路安全対策事業補助金の内示による増額のほか、基金繰入金の増額。

■歳出

ケーブルテレビ機器の更新、テレワーク導入の経費、高齢者住宅整備事業の経費、カリコボーズの宿リニューアル事業に伴う経費、公有林保育作業及び残土処理施設整備、地方創生臨時交付金を活用した事業者支援起業等促進事業補助金、消防団活動服更新に伴う経費、学校給食費助成事業の上乗せ等の増額。

質疑応答

■瀨砂恒光 公有林保育作業の場所や面積と植栽の樹種は？

二之渡地区、板谷字横谷地区の5カ所で面積は14ha、杉が主で、景観に配慮し山桜、イチイガシ、イチヨウ、モミ等を植生する予定としている。

■答 小川古川地区2カ所、板谷大王鶴地区、越野尾

■瀨砂恒光 残土処理整備

50万円、工事請負費1500万円の場所は？

答 委託料50万円は、松之本地区の残土処理場用地測量費で、工事請負費は、二畝ノ谷線と長敷線のコンクリート舗装を計画している。

黒木敏浩 ふるさと納税基金積立金の算定方法と繰入する場合は？

答 令和3年度の寄付額の二分の一を積み立てて算定をさせて頂いた。繰入については、目的に準じて事業の選定を行い額に応じて充当を考えている。

児玉義和 高齢者福祉費の委託料800万円、工事請負費800万円の内容？

答 委託料は、元上米良薬局の店舗と母屋の解体費で、工事請負費は、設計委託費となっている。

高齢者住宅の建設に当たっては、専門家や医療関係者などの方々に入ってもらい、西米良に合った高齢者住宅を建設したい

と考えている。

白石幸喜 ケーブルテレビ機器購入費の内容は？

答 平成25年度に整備を行ったテレビの施設で、役場庁舎内と小川のサーバー施設の更新時期のため更新費用として予定している。

白石幸喜 地域集落飲料水施設改修事業補助金の内容は？

答 整備内容は、水源地修繕で個人4件と水道組合1件を予定している。

白石幸喜 森林経営意向調査委託料の内容は？

答 準備調査が終了した上米良地区を対象に調査を予定している。

白石幸喜 新型コロナウイルス感染症対策事業者支援金の事業者を選定された基準は？

答 コロナ禍における原油、物価高騰により影響を受けた45の事業所や個人事業主、農業関係では各部会に対し支援を考えている。財源については国のコロナ臨時交付金の

充当を予定している。

黒木敏浩 戸籍契印機を購入する効果は？

答 戸籍謄本などの証明書を発行するにあたり割印漏れや時間短縮などの効果が期待できる。

黒木敏浩 学校給食費と材料費高騰の補助金の内容は？

答 現在、全児童生徒に給食費の半額を助成しているが、コロナ対策費により小中学校に在籍している児童生徒のうち、第2子以降の全ての子供に対し差額の半額分を助成し全額助成を予定している。

材料費高騰については、食用油、小麦製品、肉、乳製品などが高騰している。児童生徒一人につき年で1500円ぐらいのアップを考えている。
瀧砂征夫 起業等促進事業補助金の内容は？
答 田無瀬にできた宿泊施設で、10カ月分の2名分を計上している。決定後、起業等促進事

業審議会の開催を計画している。

令和4年度特別会計補正予算

国民健康保険事業

調整交付金による診療所特別会計への繰出金2407万4000円を補正し、総額が、2億9630万2000円となった。

診療施設

防火用スプリンクラー設置委託料230万円、電子カルテシステム更新に伴う備品購入費2402万4000円、オンライン資格確認システムに係る備品購入費100万3000円等を補正し、総額3億3139万2000円となった。

質疑応答

上米良玲 近隣町村のオンライン資格確認システム導入状況は？

答 自治体病院や診療所での導入は、都農町が令和3年度に設置、椎葉村、諸塚村も設置されている。

水道事業

消費税修正申告に伴う納付金590万円を補正し、総額9532万2000円となった。

下水道事業

西米良浄化センターにある汚泥脱水機流量計等の取替278万円を補正し、総額3713万8000円となった。

専決処分報告 損害賠償金の決定 及び和解

事故の概要

令和4年1月24日午後6時20分ごろ、大字村所字大王地内村道竹原線を走行中、のり面から落石があり軽貨物自動車のフロントガラスを破損したものの。

和解の内容

村は、相手方に対し損害賠償額、金12万9547円（物損）を支払い、当事者間には、一切の債権債務関係がないことを確認。

上米良玲

落石等の事故を未然に防ぐため、いち早く村民からスマートフォン等による情報を提供してもらったための窓口（投稿場所）を設置してはどうか？

答 郵便局員、バスの運転手には、口頭でお願いしているが、村民全体については、対応していないので、今後検討したい。

きたい。

白石幸喜

その事故のあった場所について、その後の対策対応はとられたのか？

答 速やかに現地調査を実施し落石を確認できた。看板を上下流に設置し、今後の対策は補正予算で計上し対応する。

令和3年度

一般会計繰越明許費

繰越計算書

令和3年度事業のうちカリコボーズの宿りニューアル事業6849万3000円は、水道施設整備実施設計業務委託料、進入路整備工事請負費など、カリコボーズ商品券交付事業、住宅建設用地造成事業、林業施設災害復旧事業など、全17事業、総額2億5747万2000円を令和4年度へ繰越を行う。

令和2年度

一般会計事故繰越し

繰越計算書

林道用施設災害復旧事業、林道竹元谷線災害復旧工事において、工法変更の協議が必要となったため、6953万円を令和4年度へ繰越を行う。

白石幸喜

事故繰越とはどのようなものか？

答 工法変更が発生するなど、避けがたい事故が発生した場合に事故繰越として申請する。

令和3年度

特別会計国民健康保険

診療施設勘定会計繰越

明許費繰越計算書

西米良診療所医師住宅改修工事に係る資材の供給が滞っているため、工事請負費132万円を令和4年度へ繰越を行う。

上米良玲

資材が入らないということでは仕方ないが、何時ごろの完成を予定しているのか？

入居予定の先生はどう

されるのか？

答

8月末が工期となっているが、6月中には全て資材も入荷する見込みである。入居予定の先生が完成後、引っ越しされるかどうかは先生にお任せする。

黒木敏浩

関連で建設課長に伺うが、他の現場等で資材等の入荷遅れが発生しているところがあるか把握しているか？

答 現在のところ建築系の資材のみである。

令和3年度

特別会計簡易水道事業

繰越明許費繰越計算書

内容は、田無瀬浄水場導水管整備工事に係る工事請負費708万4000円を令和4年度へ繰越を行う。

児玉義和

第1回定例会で決定を受けているが、なかなか進まない。繰越しをせざるを得ない理由はあるか？住民は早急の実現を願っている。

答 住民の皆様は、首長

くしてお待ちのことと思

う。現在、保健所に3月31日で申請が済んでおり、その審査が行われているところである。その後、条例改正、工事となる。

児玉義和

事務的手続きも大変だろうが、住民は苦労している。なるべく早く実現できるように努力願いたい。

令和3年度

特別会計下水道事業

繰越明許費繰越計算書

内容は、田無瀬地区公共枮整備工事に係る工事請負費400万円を令和4年度へ繰越を行う。

児玉義和

田無瀬地区に新しい施設ができたが、その関係で公共枮の設置が必要になったと思うが、前案件の浄水場の導水管工事と何か関係があるのか？

答

水道と下水道は別物になっている。古民家分とコワーキングスペース分の2カ所の新規増設である。

条 例 改 正

専決した事件の承認 西米良村一般職員の給与に関する 条例の一部を改正する条例

人事院勧告を受け、期末勤勉手当の支給率を4・45月分から4・30月分に引き下げるもの。

黒木敏浩 給与改定は通常12月議会等で行うが、新型コロナウイルス感染症等の関係で、11月24日の

西米良村特別職の職員で常勤のもの の給与及び旅費に関する条例の一部 を改正する条例

人事院勧告に伴う一般職の職員の期末勤勉手当に関する改正を勘案し、常勤の

議会の議員の議員報酬、費用弁償 及び期末手当に関する条例の一部 を改正する条例

人事院勧告に伴う一般職の職員の期末勤勉手当に関する改正を勘案し、議会議

西米良村税条例等の一部を改正する条例

所得税の住宅ローン控除の見直し、延長に伴い、所得税の住宅ローン控除可能額のうち、所得税か

西米良村国民健康保険税条例の一部 を改正する条例

国民健康保険税の基礎課税額による課税限度額を63万円から65万円に、後期高

西米良村国民健康保険税条例の一部 を改正する条例

将来、県内市町村保険税率の統一化が予定されており、段階的に県の基準に近づけるため、被保険者1人当たりの均等割額を1万8500円から2万円に引き上げるもの。

白石幸喜 現在、県との保険税率の差はどれくらいあるのか。また、県内の保険税率の統一化の見通しはどうなっているか？

部にお願いたしたいと思うが、今回報告1件、承認を求められた議案8件、計9件が上程されている。専決処分は、議会を招集する時間的余裕がない時などに、地方公共団体の長が議会の議決すべき事件を処分することができ、制度であるが、件数がかかり多く、一部には疑問に思うものもある。

答 今回、9件の専決処分の報告を上程しているが、法改正に伴う条例改正や特別交付税や新型コロナウイルススワクチン接種等に係る補正など、時間的余裕のないものとして処分を行なった。

専決処分された事件は、次の議会に報告されることとなっているが、不承認であっても効力には影響がない。私たちが議会、議員は議案内容についてはしっかりと議論して、議員としての使命を果たしていく必要があると考えている。専決処分が悪いというのではなく、臨時議会もあるので、適切に執行していただきたい。

議者と執行部は信頼関係が大事だと思っており、建設的な議論が多くできるよう、今後の専決処分は十分内容を検討し、対応していただくようお願いしたい。

答 今後は、議会との調整や事前の連絡を密にするなどの配慮をさせていただき、臨時議会の対応など、議会と協力して進めていきたい。

村長 私も議会に在籍していたので、議会軽視ととられる項目については、しっかりと検討してまいりたい。

令和3年度西米良村一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億5540万2000円を追加し、予算総額は30億5871万8000円となった。

黒木敏浩 特別交付税は例年に比べてどうだったか？

答 令和2年度と比較して672万5000円ほど増加している。

令和4年度西米良村一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ454万5000円を追加し、22億6197万円となった。

上米良玲 医療福祉職育成奨学金の該当人数は？

答 本年度は5名の申請があり交付を行った。

白石幸喜 商工費、起業等促進事業補助金300万円の支出先、内容は？

答 村所地区の方で本人所有の空き店舗を改修し、貸事務所を設置する計画である。

濱砂恒光 第4回目のコロナ予防接種の開始時期は？

答 3回接種された60歳以上の方と60歳以下の基礎疾患をお持ちの方を対象に通知等を出す。6月末からスタートできるように準備を進めている。

濱砂征夫 5歳から11歳の新型コロナワクチン接種率は？

答 対象者76名中、接種者は12名であり接種率は低い。副反応があったとは聞いていない。

西米良村過疎地域持続的発展計画の変更について

第1回西米良村議会定例会にて議決した第2期西米良村まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標（生活満足度2021年基準値67%、2025年目標値75%）を西米良村過疎地域持続的発展計画に追加した。

令和2年度（令和元年発生）林道竹元谷線災害復旧工事台風17号3号箇所工事請負変更契約について

令和2年6月から長期にわたり復旧工事が施工されているが、終点箇所設計変更が発生したため変更契約を行う。変更前3億5098万2000円、変更後3億5439万1000円。

濱砂恒光 竹元谷線全線の完成見込みはいつ頃？また上部の工事は？

答 7月中旬に完成予定である。上部の山腹崩壊は1期工事が終わり、現在2期目の治山堰堤の復旧工事を県営で行っている。

議員発議、西米良村議会災害対策協議会設置要綱の制定

この要綱は、西米良村内において大規模災害が発生し、または発生する恐れがある場合に、西米良村議会及び西米良村議会議員が西米良村災害対策本部、西米良村家畜伝染病防疫対策本部及び西米良村新型インフルエンザ等対策本部と連携し、議員の適切かつ迅速な対応により、村の災害対策を側面から支援し、村民の安全の確保及び早期の復旧・復興に資するために必要な事項を定めるものである。

西米良村ふるさと納税基金条例の制定について

平成20年度から始まった「ふるさと納税」は50万円前後で推移していたが、令和元年度から専門のポータルサイトの活用に伴い、年々寄付額が増加し、これまでの寄付額の総額は、2527万1000円となった。

このため、寄付者の思いを実現のための事業の財源に充てるため、活用事業を明確化するため本条例を制定するもの。

上米良玲 寄付者の想いを実現するための事業の財源に充てるということだが、どのような事業があるのか。

答 寄付者が寄付をしていただく際に、使用目的を書いていただくようにしており、

「令和の桃源郷づくり」、「豊かな実りの村づくり」、「生涯現役の村づくり」、「菊池の精神を宿す村づくり」の4つの項目がある。事業としては、例えば「農林業水産業の振興」、「産業の創出による雇用の維持拡大」等の事業に充てることとしている。

西米良村職員の分限の方法及び効果に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員法に規定される能力及び実績に基づく人事管理を図るため、分限にも人事評価を活用することとし、併せて所用の改正を行うもの。

田爪朝幸 改正内容について異議はないが、条例改正の方法について2つ伺いたい。

改正内容が多い場合、改正箇所が分かりにくい場合があるため、新旧対照表を資料として付けることはできないか。

例規集を紙媒体ではなく、パソコンかインターネットで見えるようにはできないか。

答 新旧対照表は必要があれば、全員協議会等で提供することは可能ですが、税条例の改正など改正条文が膨大なものもありますので、必要な場合に要望していただきたいと思います。

条例の公開は、現在、役場庁舎内では条例のシステムを導入しており閲覧が可能となっているが、条例等の中には改正や廃止など未整理のものがあるので、精査の上整理が済んだ段階で公開ということにしたいと思っている。

議案の採決結果

○全員賛成で可決した議案等

条 例	西米良村一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
	西米良村特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
	西米良村税条例等の一部改正
	西米良村国民健康保険税条例の一部改正(課税限度額の変更)
	西米良村職員の分限の手続き及び効果に関する条例の一部改正
	西米良村国民健康保険税条例の一部改正(医療分の税率変更)
	西米良村ふるさと納税基金条例の制定
予 算	令和3年度 一般会計補正予算(第11号)
	令和4年度 一般会計補正予算(第1号)(第2号)
	令和4年度 国民健康保険事業勘定会計補正予算(第1号)
	令和4年度 診療施設勘定会計補正予算(第1号)
	令和4年度 簡易水道事業補正予算(第1号)
	令和4年度 下水道事業補正予算(第1号)
繰越予算	令和3年度 一般会計繰越明許費繰越計算書
	令和2年度 一般会計事故繰越し繰越計算書
	令和3年度 診療施設勘定会計繰越明許費繰越計算書
	令和3年度 簡易水道事業繰越明許費繰越計算書
	令和3年度 下水道事業繰越明許費繰越計算書
計 画	西米良村過疎地域持続的発展計画の変更
契 約	令和2年度(令和元年発生)林道竹元谷線災害復旧工事の請負変更契約
損害賠償	村道竹原線落石による損害賠償金の決定及び和解
発 議	西米良村議会災害対策協議会設置要綱の制定

第3回臨時会

令和4年度一般会計補正予算

地方創生推進交付金事業に伴う増額

歳入歳出それぞれ634万8000円を追加し、予算総額が25億955万6000円となった。

質疑応答

上米良玲 地方創生推進交付金事業に伴う委託料の内容は？

答 第2期西米良村まち・ひと・しごと創生総合戦略施策を踏まえ、西米良で農業をすること、ゆず生産量の維持対策を行うもので、村の魅力を加した商品の開発や新たな販路開拓、村ぐるみで生産から販売までを一貫した体制を整え、更なる強化及びブランドイメージの構築を目指すことを目的とし、技術力向上や担い手確保など課題はあるが、西米良らしい農的な暮らしを目指して予定している。

白石幸喜 3カ年計画の2年目と

言うことで、昨年度は上米良地区で、測量をされたと認識しているが測量後の計画について伺いたい。

答 令和3年度からの事業で昨年度は、農地生産構想及び上米良団地の調査計画・設計を実施したが、結論として事業費・造成費が高額となり現実的ではないと結論に達したため、本年度は新たな計画を策定し事業の実施を行うこととしている。

白石幸喜

事業費が高くなり継続が難しくなったとあるが、土地提供者への説明はされたのかと、1カ所だけではなくゆず生産者全体を見ていく必要があると思っているが、ゆず生産者全体を盛り上げる様な施策を今後展開して頂く考えはないか？

答

報告を踏まえ担当者レベルでは、地権者への説明は行っているが、本年度の事業執行時には改めて事業の内容等の説明をさせて頂くと考えている。今回は、村営の団地を中心に検討しているが、ゆず部会等を含め幅広く恩恵を受けられるような事業を検討していきたいと考えている。

田爪朝幸

ローカルフードプロジェクトについて西米良村内ではどのように関わっていくのか？

答

村内の生産業者さんと連携を取り今年度は勉強会の開催を予定している。

監査室より

今回は、村の指定金融機関（JA西都西米良支所）の監査と、建設課の令和3年度に施工された工事の完成確認検査を10カ所抽出して実施しましたので、その結果について公表いたします。

指定金融機関の監査

会計管理者同伴のもと村の預金残高確認書、借入状況書の提出を求め、黒木貴祥支所長補佐、黒木靖隆主任の説明を受け預金等の確認を行った。

定期預金等（令和4年5月31日現在）

財政調整基金等 証書52件

2,318,293,286円(23億1千8百万円余り)

普通預金 通帳14件

538,944,922円(5億3千8百万円余り)

借入金（令和4年5月31日現在）

水道事業等の起債 16の残高

445,287,739円(4億4千5百万円余り)

右記の預金、借入金等村の台帳との相違はなく適正に管理対処されていることを確認した。なお、村の会計室に村民の利便性を考慮して指定金融機関の収納窓口が設置されているが、村の人件費負担金などで設置されているのは県内でも本村のみだと思われる。JA西都の配慮に感謝しなければならない。

工事完成確認検査

監査を実施した事業

① 山村トレーニング施設の改修工事

② 村道鉦山谷古川線舗装補修工事

③ 林道天包山線舗装補修工事

④ 村道下鶴線落石対策工事

⑤ 村道橋梁小川内橋塗装工事

⑥ 桐原公営住宅屋根防水工事

⑦ 244号村道木之口線災害復旧工事

⑧ 245号村道木之口線災害復旧工事

⑨ 井戸内谷川河川災害復旧工事

⑩ 宮之瀬学校施設住宅新築工事

上記10カ所を、事業が費用、労務を最小限とする手法か、結果が効果をあげ目的を達成しているかを着眼点として建設課長、担当職員の説明を受けながら対象工事現場の監査を行った。



村道下鶴線

山林伐採が増加し舗装のいたみにも拍車がかかっているようである。
場所によっては強度があるコンクリート舗装のほうが良いのではないかと提言したが、いとのことであった。

地域コーディネーター・

花咲じいさんありがとう！

地域コーディネーターの那須正さんが活動する小、中学校やその他の施設がいつもきれいに清掃、草払いがされている。特に村道村所2号線沿いの中学校の土手は草がのびていることがなく気持ちがいい。温泉に訪れる観光客のみなさんも中学生のあいさつと共にきつとそう思われることでしょう。

いるが、西都方面から温泉に見えるお客さんの入り口になる木橋から温泉までの道路周辺がとても綺麗に管理されて温泉に見えるお客さんの心も花の美しさとともに癒されることでしょう。建設課の工事完成検査に回る道すがら改めてそう感じたことでした。

それぞれの実業で国、県の補助事業をうまく活用し、施工状況も良好と確認した。ただ、県内の自治体でも資材の値上がりで公営住宅の新築を取りやめたとの報道もあったが、学校施設住宅の新築工事では、近年の同種の工事と比較すると資材等の値上がり（事業費34,615千円）で坪単価が約20万円余りアップしていた。

また、検査で林道を回る中、舗装のいたみが多く見られたが、近年木材の価格が上がり

また、まだ若い花咲じいさんの中武一敏さんも村内の国道、村道の花木の管理をして

代表監査委員 黒木正近

議選監査委員 瀨砂征夫

監査室より

現地調査



令和3年度 ふたば園駐車場整備工事

主にふたば園職員駐車場として利用している。



令和3年度 旧ふたば園護岸整備及び敷地造成工事

上流側の宅地と同じ高さまで嵩上げ。



令和3年度 双子キャンプ場侵入路整備工事

双子キャンプ場の進入路の傾斜と進入角度の改善。



お試し滞在施設

田無瀬地区の空き家を改修した短期滞在施設。お試し滞在として1カ月以内で利用することができる。



REBORN

起業等促進支援金を活用し田無瀬地区に宿泊施設が整備された。令和4年5月から営業を開始している。



坂本商店前、貸事務所

起業等促進支援金を活用し、村所中心部に貸事務所の整備が進んでいる。

一般質問

上米良玲 議員



移住定住対策室の体制は ▼ 課内に2名体制で体制強化を図る

わが国の人口は、平成20年の1億2808万人をピークに減少に転じていると言われており、人口減少・少子高齢化が大きな問題として取り沙汰されている。

本村においても人口減少問題は、避けては通れない喫緊の課題である。本村では、カリコボーズと1000人が笑う村を目標として様々な対策を

講じられてきたことは言うまでもないが、前村長が在任中に成しえなかったことの中にも人口減少対策が挙げられていたように、解決策が見いだせない難しい問題でもある。

昨今のコロナウイルス感染症の感染拡大に伴い働き方にも変化が見られるようになりテレワークの普及により地方への移住にも関心が高まっている状況を考えてと一日も早い対策対応が必要不可欠ではないかと考える。

第6次西米良村長期総合計画では、人口の将来展望として移住の想定をしたシミュレーションが記載してあるが、シミュレーション通りの移住が可能であれば人口減少のスピードを緩やかにすることは十分可能性があるのではないかと考えている。

村長は先の村長選において、移住定住対策室を設立したいとの強い思いを掲げられていたが、どのような形での設立を考えておられるのか村長の考えを伺いたい。

村長

先の村長選挙において、これからの本村における重要な施策の一つとして人口減少を何とか食い止めるために、移住定住対策室の設置を掲げさせて頂いた。6月1日現在、本村の人口は1080名、547世帯である。全国的な人口減少問題が叫ばれる中、前村長の下で先進的な施策を行

いながら、減少を少しでも緩和することに力を注いできたことが現在の人口維持に繋がっていると考えている。

現在は、むら創生課において、移住・定住の担当者が高業務との兼務で

業務にあたっているが、当面は課内に2名体制での立ち上げを考えており、業務を専属で行うことで、窓口の一本化を行うことで体制強化を図ることができると考えている。

移住者受け入れの際には、住居等の問題もあるが関連する業務については、対策室へ業務を移行する予定である。

本格的設置時期については、新年度に設置予定としている。

立ち上げ後は、約半年をかけ移住・定住された方々への聞き取りや現状の把握などを行い、その中で出てきた事柄に対して優先順位をつけ早急にできることは早急に、確認や調整が必要なものについては受け入れ基盤を計画的に整備し移住から定住しやすい環境づくりをつくって参りたい。

地方への回帰が見直される今だからこそ、本村の人口減少問題、働き手、担い手不足、空き家問題を解消するためにも今一度、移住・定住対策に本腰を入れて取り組む時にきていると鑑み、移住者に寄り添える、また地域住民との橋渡し役になる専属の移住定住対策室を設置したいと考えている。

上米良玲

課内に対策室を設けるということであるが、祝日・祭日問わずに専門的に対応するためには、庁舎外に設けた方が良いのではないかと考えるが、検討の範囲内にはないのか。

村長

現時点では、むら創生課の中に半年間置いて来年度の立ち上げをと考えている。色々な可能性を考えながら取り組んで参りたい。

白石幸喜 議員



政策内容と政治姿勢について

▼ 霊、な取
全すちで
身っちむ
全真気組

選挙期間中において

「力強く西米良の未来を思いやる幸せ度の高い持続可能な村づくり」として掲げていた政策内容並びに政治姿勢について改めて伺いたい。

村長 基本政策として

- ①「幸せ度の高い村づくり」
- ②「活力ある村づくり」
- ③「安全安心で持続可能な村づくり」
- ④「人口減少対策」の4つを掲げ取り組んでいく。

課題としては、

- ①人口減少対策、②健康寿命の延伸と福祉の充実、③地域で支え合い地域の課題を解決できる体制づくり、④基幹産業の農林業担い手育成、⑤事業者同士の担い手・雇用確保の問題共有、⑥防災減災及び物流緊急搬送としての国道・県道の改良要望、⑦道路河川災害等の迅速な対応としている。すべてにおいて現在の西米良村が存続していくためには重要な課題だと捉えており、本村を未来永劫に渡り継承していくため全身全霊、真つすぐな気持ちで村政運営に取り組むことを私の政治姿勢としている。

村営バス運行体制等の整備について

▼ プロジェクトチームで対応する

白石幸喜

デマンド型乗合バス導入や村営バスの運行体制見直し等新たな交通手段の整備や再構築の考えはないか伺いたい。

村長

長期総合計画の村民アンケートでは48%の方が10年後の生活において日常的な移動手段が不安と回答している。タクシー券についても利用率が上がらず村民のニーズにマッチしていない部分があると思っている。そこで抜本的な解決方法を

早急に検討するため関係する部署を横断したプロジェクトチームを立ち上げ、今年12月には検討結果を取りまとめ、令和5年度の施策に反映させるようスピード感を持って対応する。

観光施設の連携促進と支援について

▼ 統一感がある一体的な仕組みをつくる

白石幸喜

村内にある観光施設がその特色を出し連携しながら西米良版の事業を展開していくことは観光やレジャーとしての役割を更に充実させ本村の活性化につながると思っている。ウィズコロナとしてポストコロナを踏まえ、その内容について伺いたい。

村長

コロナ禍により村

内を訪れる観光客は減少し、各観光施設は大きな打撃を受けた。村としては国・県の補助金や交付金活用と村単独事業を合わせ、運営や雇用維持を支援している。ポストコロナを見据え観光客を含めた人流や動向を見極めながら民間施設を含めた村内観光施設の連携を密にし、村全体で人を呼び込むような統一感のある一体的な仕組みづくりを構築していく。併せて総合戦略にもある東米良地区との連携も行っていきたい。また本年度はコロナ禍で実施できなかった「やまびこ花火大会」及び各種イベントも開催の方向で準備を進めている。



インターネットの インフラ整備は？

▼ 早急に計画を
作り進めたい

より便利になり、私たちの生活のあらゆる場面で利用されるようになっていく。

一方、国では「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を2021年6月18日に閣議決定し、デジタル庁を設置して、2025年までにデジタル社会の形成のための施策等を重点的に実施するとしている。

インターネットはプライベートから仕事まで幅広く利用されており、現在では私たちの生活には無くてはならないものとなっている。

本村では、テレビが地上デジタル放送に変わるタイミングで、県の情報ハイウェイを利用して本格的なネットワークが構築された。

このことにより、インターネットはより身近に、変不利な状況となってい

るところである。

村長は村長選挙の公約の中で、インターネット環境の拡充を掲げられている。

インターネット環境のインフラ整備は、移住・定住を推進する上では必須の条件の一つであり、国が進める誰一人取り残されないデジタル社会の実現を目指す施策等の推進のための前提条件となるものだと思う。そこで、

現段階の基本的な考えでいいが、インターネット環境のインフラ整備について、次の2点について伺う。

1点目、村長が考えておられるインターネット環境の拡充の方向性とはどのようなものか。2点目、インターネット環境の整備には多額の

予算が必要となろうと思う。よりよい制度で財源を確保し、事業を進めることは大変重要なことだが、有利な制度等がなかった場合、また国の施策等の実施状況によっては、早期にインフラ整備を進めなければならない場合も出てくると思われる。このような場合に、自主財源の投入も考慮し整備の推進を行うのか、以上2点について村長のお考えを伺いたい。

村長

まず1点目のインターネット環境の拡充の方向性についてであるが、その前に本村の状況についてまず御説明をする。

本村のインターネット環境は、プロバイダーであるしんとみネットにおいてテレビの地上デジタル化の際に整備した光ファイバー元NTT系の光ファイバー網の通信量が小さいことからインターネットにストレスを起している状況があり、その通信容量を大きくすると採算が合わず、運用を継続できないことになるという現状である。

第2期総合戦略の基本的な方向性の中で、大容量通信回線の調達、現在200メガバイトから10ギガバイトを具体的に施策としており、現在、2つの改善策を検討中である。

1つ目は、NTTまたはQTTネットなどの民間業者へ整備を依頼する。その際、業者にとつては採算ベースの観点から本村が、その整備費を負担しなければならない。しかし、多種多様な整備の

選択が可能となり、維持費も必要がない。

2つ目は、村が自らインターネットを運用する。課題となる大容量の上位回線を使用したインターネットを提供することで毎年高額的光ファイバー網の使用料を支払うこととなる。

今後、予算や補助事業

国や県への相談及び要望等の協議が必要になるので、情報収集力の強化や各課連携の強化を図り、関係機関との折衝を行っていききたいと思っている。

2点目のインターネット環境整備による予算については、ハード面からの整備になると、確かに多額の予算が必要になることが予想される。そこで、まずは国や県の補助金や交付金等を活用した

いと考えている。現状において難しい面もあるが、

本村を含め中山間や僻地、過疎地域が抱える問題であり、デジタル化につきましても国重点施策でもあるので、積極的に関係機関や市町村と協力や連携をしながら、国や県に対して要望を行いたいと考えている。

全ての財源が補助金や交付金で賄われるとは限らないので、自主財源が必要となる場合には、過疎債などの起債の活用や場合によっては基金の創設など、議会とも相談させていたいただきながら、財政的に負担が膨らむことがないように慎重に考慮し、喫緊の課題であるので、早急に計画を作り実施に向けて進めていききたい。

黒木敏浩

難しい問題もあると思うが、今、村長

が言われたように国が進めていることなので、今までなかった制度も出てくる可能性があるのでは、十分にそのことを国、県等に伝えて、よりよい制度があればそちらを利用していただきたい。

また、予算についても、十分考慮された上で予算の執行をしていただきたい。

デジタル化を進めて行く場合に、2つ問題があると思うが、一つは、職員は自分の担当課のものがどこまで進められるのかと、言うことを十分に理解した上でないと住民に十分伝えられない。また、高齢者の方を中心とした、難しいとか分からないとかさういった

不安をお持ちの住民への説明、支援を十分考えていただきたい。

村長

私も村民に恩恵が受けられるようなデジタル化というのが理想だと考えている。

デジタル化を進めたことによって、村民の方がストレスを感じるとか、そういうことであってはならないと考えている。今の時代の流れでいくと、先々というふうに行ってしまうと、どうしても費用がかかり過ぎ、後で実際に使ってみたらこうだったという事例もあるが、そこは慎重に見極めながら、ただ先ほどの高速化であるとか、大容量のインターネットに関しては、確実に必要性があるものと思う場合には、やっぱりそういう形で進めてい

くということも大切であると思う。

そして、先ほどの村民に対しての理解ということに関しては、職員の中にも共有が必要だと考えているので、そこも周知徹底をして村民の皆さんに安心して説明できるようになかなち、そして、村民の方が使いやすい日常を送れるようなことであるということが私もそういう思いである。

黒木敏浩

このことが村

をよくするための方法ではなく、ひとつの手段だと思う。西米良の古き良き伝統文化、それから風土が忘れられては困るので、そういったものは十分残していきたいながら、積極的に進めていただきたいと思う。



地域商社の取り組みは

▼ 専門家の報告を受けた上で検討する

近年、全国で多くの地域商社が設立されている。宮崎県内においても、新富町の「こゆ財団」はふるさと納税の額を大きく伸ばしたことで有名であり、高原町の「ツナガルたかはる」など、生まれつきの地域商社もある。この地域商社は地域の特産品を活用して、魅力ある商品作りを手がけ、また工夫を凝らした販売力を入れて、その稼ぐ力を持って地域に利益を還元する。そうして地域を

活性化することに成功しているという事例も多々見受けられる。

西米良村でも、第6次西米良村長期総合計画の中で、地域課題の解決に向けて地域商社に関する調査・検討を進めていくと記載されており、私はずひこのことに前向きに取り組んでほしいと考えている。

西米良ならではの地域商社の実現は、商品の開発や販売を通じて、西米良の魅力発信や産業の振興、商品を作る村民の所得アップにつながる。また、村長が将来ビジョンとして描かれているUターンや孫ターンの仕事作りのきっかけにもつながると考えられる。

この総合戦略の中にある地域商社の計画について、村長として現時点でどのように考えておられるか伺いたい。

村長

現在進めている西米良村第6次長期総合計画並びに第2期総合戦略にも地域商社の設立、構想の策定について2025年までの目標を上げている。また県内においても地域商社、産地型商社、特定地域づくり協同組合が設立され、それぞれの地域の活性化のために活動されていると聞いています。議員の先ほどおっしゃった新富町の一般財団「こゆ地域づくり推進機構」がある。2017年に観光協会を法人化し、そしてその収益を人材や産業へ再投資することで地域産品のブランド化、そして商品開発、販路拡大、人材育成や起業家支援など、様々な活動を行うことで地域の活性化に大きく寄与されている。

そのような中、本村における産地型商社、若しくは地域商社の設立の可

能性について昨年度、専門家へ業務委託する形で調査研究を行った。専門の委託業者と役員職員による協議を行い、現状の把握、設立の目的や経営理念、運営母体をどのような形にすべきか新たに立ち上げるのか、既存団体の業務移行を行うことにするのか、運営資金はどうするのか、人材は主として誰が行うのか、そもそもどのような事業を行うのかなどについて議論を行ってきた。

この産地型商社の基本的な視点は、収益性、公益性、持続性であり地域経済の発展のための組織である。農産物や観光など地域にある資源をブランド化させ、一貫したプロデュースを行い地域外に販売、発信を行う、そこで外貨を稼いで、その利益で再投資を行い、さらに地域内の循環を促す

地域の活性化、地域の好循環の牽引役となるべき組織だと考える。

議員のおっしゃるとおり、Uターン、Iターンや孫ターンの受け皿になり、村で仕事できる村での就労の場等の一つとなり得ることも大いに期待できる。しかしながら、収益性、持続性を考えた場合に、明確な経営理念やビジョンを持って、しっかりと儲かる事業を継続的に展開する必要がある。昨年度行った調査研究の実績については、今月下旬に専門家からのアドバイスを含めた報告を受け、今回、その報告を受けた上で、設立を行う方針については今後の方針についていきたいと考えている。

令和4年 春の叙勲《旭日双光章》を受章!! 小佐井 武憲 さん(上米良地区)

令和4年4月29日付けで、元西米良村議会議長の小佐井武憲さんが、地方自治功勞で、「旭日双光章」を受章されました。

小佐井さんは、昭和58年に西米良村議会議員に初当選以来、平成27年までの間8期32年間の長きにわたり議員として在職され、各種委員会の委員長、副委員長を歴任、平成21年から平成27年までは議会議長として活躍、高邁な政治信念をもって地方自治の発展と住民福祉の向上に多大な貢献をされたことが認められました。

誠におめでとうございます。



編集後記

第2回定例会で、新村長の所信表明が行われ、いよいよ新しい村政が動き始めました。

議会と致しまして、今までの以上に気を引き締め、片輪としての責務をしっかりと果たさなければなりません。

広報委員会もその状況をしっかりと村民の皆様にお伝えできるように、いろんなアイデアを駆使し精進して参ります。

暑さに負けず、コロナに負けずそれぞれが元気良く!! (義和)

議会広報常任委員会

委員長 上米良 玲
副委員長 児玉 義和
委員 田爪 朝幸
// 黒木 敏浩